

# 安全保障戦略研究

第6巻 第1号 2025年12月

## 目次

グアタナモ米海軍基地固定化の要因 ——キューバの「特殊性」とは何か——	1 大澤 傑
陸上自衛隊の「編成定数」の形成過程 ——その防衛力整備上の意義——	21 日田 大輔
1980年代におけるアメリカ軍のLIC研究 ——陸軍と空軍のLIC協同研究を中心に——	41 新福 祐一
「良い」譲歩のための理論的検討 ——危機における譲歩の問題点と「評判を棄損しない譲歩」——	61 本山 功
軍事的視点から見た台湾有事の蓋然性 ——ウォーゲームと攻勢・防勢理論による検証——	81 切通 亮
バルト諸国の対ソ連武力闘争 ——「森の同胞」による抵抗の記憶——	101 松尾 康司
米国の対テロ戦略に関する一考察 ——標的殺害に係る分析を中心に——	121 足達 好正
中国人民解放軍の日本に対する認識 ——戦略三文書発表前後の分析を中心に——	141 佐々木 智則
中国人民解放軍が想定する認知域作戦の特徴 ——欧米諸国の研究と軍機関紙『解放軍報』等の論考を比較して——	165 長沼 加寿巳
【研究ノート】海上自衛隊における「海上交通の保護」概念の形成 ——1950年代における海上防衛構想をめぐる議論——	185 赤松 真次
英文要旨 (Summaries in English)	207
編集後記・投稿のご案内	

